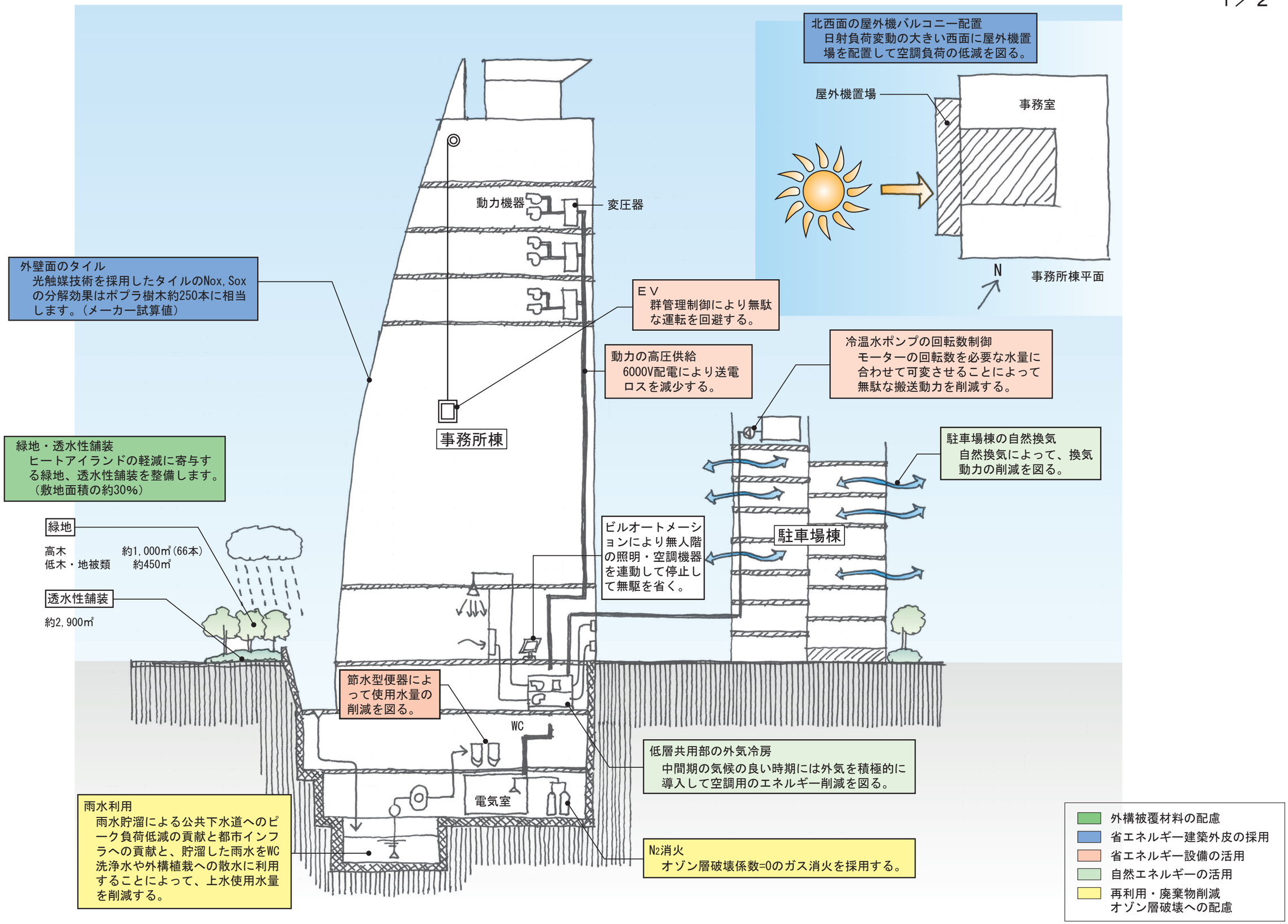
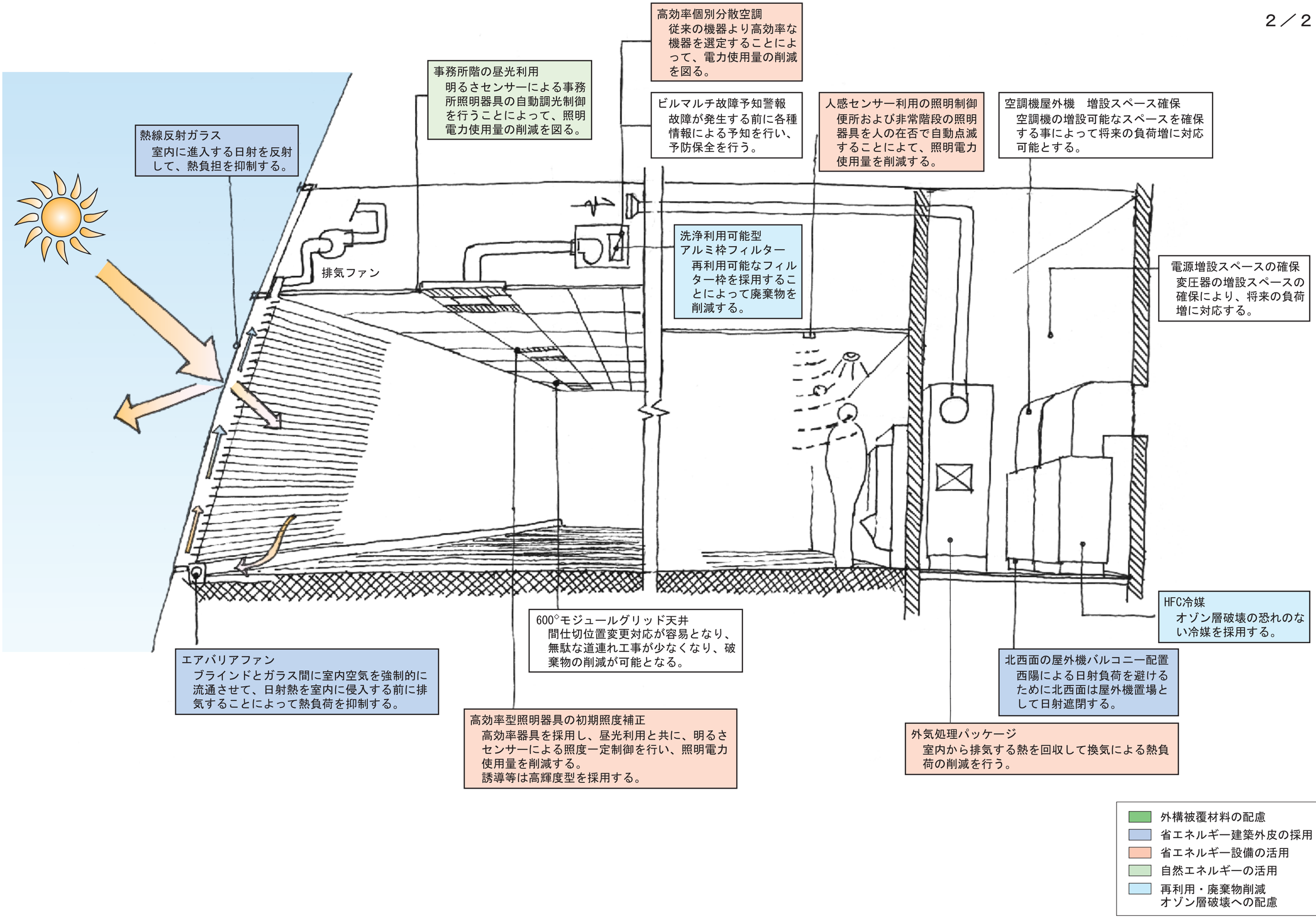
牛島南市街地再開発事業における環境配慮手法の概要




熱線反射ガラス
室内に進入する日射を反射して、熱負担を抑制する。
事務所階の昼光利用
明るさセンサーによる事務所照明器具の自動調光制御を行うことによって、照明電力使用量の削減を図る。
高効率個別分散空調
従来の機器より高効率な機器を選定することによって、電力使用量の削減を図る。
ビルマルチ故障予知警報
故障が発生する前に各種情報による予知を行い、予防保全を行う。
人感センサー利用の照明制御
便所および非常階段の照明器具を人の在否で自動点滅することによって、照明電力使用量を削減する。
空調機屋外機　増設スペース確保
空調機の増設可能なスペースを確保する事によって将来の負荷増に対応可能とする。
排気ファン
洗浄利用可能型
アルミ枠フィルター
再利用可能なフィルター枠を採用することによって廃棄物を削減する。
電源増設スペースの確保
変圧器の増設スペースの確保により、将来の負荷増に対応する。
HFC冷媒
オゾン層破壊の恐れのない冷媒を採用する。
600◇モジュールグリッド天井
間仕切位置変更対応が容易となり、無駄な道連れ工事が少なくなり、破棄物の削減が可能となる。
エアバリアファン
ブラインドとガラス間に室内空気を強制的に流通させて、日射熱を室内に侵入する前に排気することによって熱負荷を抑制する。
北西面の屋外機バルコニー配置
西陽による日射負荷を避けるために北西面は屋外機置場として日射遮閉する。
高効率型照明器具の初期照度補正
高効率器具を採用し、昼光利用と共に、明るさセンサーによる照度一定制御を行い、照明電力使用量を削減する。
誘導等は高輝度型を採用する。
外気処理パッケージ
室内から排気する熱を回収して換気による熱負荷の削減を行う。
外構被覆材料の配慮
省エネルギー建築外皮の採用
省エネルギー設備の活用
自然エネルギーの活用
再利用・廃棄物削減
オゾン層破壊への配慮